

突撃!「極意」伝承道場!!

地域学習

富本 智子先生(宮田村立宮田小学校)の講座を訪問させていただきました。

9月30日(金)に南牧南小学校で開催された富本先生の講座に参加させていただきました。この日は、受講者の学校で実施され、受講者の授業公開と全校で取り組む自問清掃の様子を参観させていただきました。真剣に取り組む自問清掃と、育ててきたあさがおについて生き生きと自分の思いを語る子どもたちに、あっぱれ!!でした。

授業公開終了後に第3回「極意」伝承道場が行われました。参加者は富本先生を含めて4名でした。はじめに授業参観について意見交換を行い、授業者の願いやこれまでの思いを聞いたり、授業のねらいに関わることや発問の内容、「子どもの言葉」への教師の評価等について考えたりしました。富本先生からは「個別最適な学び」と「協働的な学び」をどう考え

るかや**地域学習の「教材研究」や「振り返り」**について自分の実践を通してのお話がありました。そのあと各自の2学期の取組について意見交換を行いました。

富本先生は「『地域学習』を窓口にした講座の中で、子ども、教師、地域のつながりを考えました。地域学習への関心はもちろん、先生方が“**自分の教師の在り方**”を一生懸命に考えており、穏やかな中に熱い思いのある3人の先生方とお話の中で、私自身が多くのことを学ぶことができました。1回1回の講座を振り返りながら、目の前の子どもたちとの日々をもう一度見返す機会をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです」とおっしゃっています。

受講者の感想から

- ★「子どもの姿をよさとして発見的にとらえていく教師のまなざし=評価」の考え方を確認できました。そんなからだになるためには、同僚の姿や保護者の姿、自分に関わる様々な方々の姿をよさとして発見的にとらえていく習慣作りこそ大事にしたいと思いました。
- ★ 地域の人と関わる活動を仕組む、つながりを作るのが総合の授業の醍醐味ではないかとか、また、総合の授業に入れば自分も子どものように関わっていく、「それってどうやる」「どうやったら実現できそうかな」などと子ども目線で関わるのが大事であるなど、総合の授業の展開の仕方についてアドバイスをいただきました。
- ★ 富本先生の実践をお聞きし、子どもの願いに寄り添う姿はもちろん、教材研究にかける時間や思いにもすごいと感じさせられました。子どもと地域を結びつけることで、子どもたちはもっと自分の村や町を、またそこに住む人を好きになるのではないかと思います。

